

調査期間 2014年6月16日～継続中
所在地 横浜市保土ヶ谷区西谷町
時代 近世・中世・縄文
調査原因 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構による都市鉄道利便増進事業 相鉄・JR直通線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 横浜市中心西部、相模鉄道線西谷駅南西側に位置し、帷子川左岸の丘陵斜面上、海拔標高25～26mの地点に立地する。



主な調査成果

発掘作業は調査区を東西に分け、全体を4.5ヶ月の調査期間で行っています。東調査区では、近世の溝状遺構や土坑を検出しました。この溝状遺構は幅約4.5m・深さ約1mを測る大型のもので、調査区を東西方向に貫くように延長約16mにわたり検出しています。調査地点の北側には、古くは八王子往還、又は八王子道と呼ばれた古道と目される道路があり、溝状遺構はこれらに沿う向きで確認されたことから、古道の側溝などの付帯施設であった可能性があります。遺物は近世の陶磁器、縄文時代の土器・石器などの破片が出土しています。

本発掘調査終了後は、継続して出土品等整理作業へと移行する計画です。



近世 溝状遺構



近世 溝状遺構断面



調査地点全景（西から）



国道16号と八王子往還・調査区遠景（西から）